

第24回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日時

平成26年3月28日（金） 午前15時00分～午前16時00分

2. 場所

箕面市役所 本館3階 委員会室

3. 出席者

(会長)

・箕面市副市長 伊藤哲夫

(副会長)

・大阪大学大学院工学研究科准教授 松村暢彦
・箕面市地域創造部長 広瀬幸平

(監事)

・街づくり支援センターみのお 清田栄紀
・箕面商工会議所専務理事 松出末生

(委員)

・大阪大学大学院工学研究科助教 猪井博登
・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部長 庄健介
(代理出席) 課長補佐 小林誠司
・阪急バス株式会社取締役自動車事業部長 河崎浩一
・みのおの交通を考える会 永田よう子
・栗生第二住宅自治会会長 川本幹雄
・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 工藤寛士
・株式会社ジェット統括本部長 妹尾一男
・株式会社ビバーレポートビバーワールド 箕面船場統括マネージャー 米津秀春
・国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長 加納陽之助 (ワザバーバー)
(代理出席) 交通企画課専門官 森本正司
・大阪府都市整備部交通道路室道路整備課参事 松江琢也
・箕面市みどりまちづくり部長 中井浩己
・大阪府箕面警察署交通課長 主谷芳雄
・箕面市健康福祉部長 小野啓輔
・箕面市子ども未来創造局長 大橋修二
・箕面市地域創造部鉄道延伸・まちづくり政策統括監 柿谷武志

(欠席)

・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 木村淳三 (ワザバーバー)
・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官 (総務企画) 田中秀人
・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官 (輸送) 藤本和往

- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 河合良治
- ・大阪府池田土木事務所参事兼維持管理課長 錦織慎
- ・一般社団法人大阪タクシー協会常務理事 井田信雄
- ・阪急バス労働組合副執行委員長 越智啓伸
- ・自転車道ネットワーク公募市民 松木亮
- ・東急不動産 SC マネジメント株式会社みのおキューズモール総支配人 友金聡
- ・分科会の副分科会長 井上整
- ・学校法人大阪青山学園事務部経理課（地域活動支援室）課長 福田貴夫
- ・有限会社箕面自動車教習所取締役総務部長 桐村敏昭
- ・箕面市市長政策室長 稲野公一

以上、委員31名のうち20名出席、オブザーバー2名のうち1名欠席。

4. 議 題

- (1) 本格運行、実証運行の状況について
- (2) 各事業の実施結果について
- (3) 平成25年度収支予算について
- (4) 平成26年度の運行内容について
- (5) 平成26年度事業計画及び収支予算について
- (6) その他

5. 議事要旨

- (1) 本格運行、実証運行の状況について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○市民・利用者からの意見・要望のその他のなかに「より親切な対応を運転手にして欲しい」という要望が約1ヶ月間で6件もあるが。

→乗客者の対応についての意見や要望を運行事業者にその都度報告し、事実確認と注意指導等をしている。

- (2) 各事業の実施結果について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○利用者100万人突破記念の時は何をどうするのか決まらなかった。早い段階から計画的に考えておけばもっと良いアイデアがあったのではないか。

→今後、事前に協議会等にはかり、計画的に進めていきたい。

- (3) 平成25年度収支予算について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○特になし

- (4) 平成26年度の運行内容について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- 消費税増税による料金改定はどのように広報されているのか。
→路線バスの運賃改定と同様にバス車内への広告・HP等で掲示している。
- 遅延対策により平日の運行ルート・停留所が若干変わるがそれはいつから広報するのか。
→停留所等についてはバス停に変更表示をする予定である。4月中旬に新しいバスマップ等を配布し、周知していく。
- 遅延対策による平日のダイヤ変更で時間が早くなっているルートがあり、今まで乗っていた人が乗れないところも出てくるのではないか。
→今まで乗っていたバスに乗れないとなってしまうことがないように乗降調査（OD調査）を見ながら再度ダイヤを整理します。
- ルート毎にバスの車内にもルートの変更を示すものを少し早い時期からお願いしたい。
→広報紙・バス車内での配布でお知らせしている。特に無くなるバス停に関してはバス停利用者ほか、自治会等への説明も含め、市内の全自治会へ配布する。
- 平日はパターンダイヤだが、日・祝はパターンダイヤが崩れてしまっている。
→日・祝はダイヤは運行時間が長く、パターンダイヤにするというのは距離を含めて難しいので、時刻表の配り方や使い方を店舗で貼ってもらう等、次年度は色々と工夫していく。

(5) 平成 26 年度事業計画及び収支予算について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

- 休日の実証運行を“1年間のみ行う”と記載しているが、“平成 26 年度に行う”という書き方が正しいのではないか。
→休日の実証運行は年度間での 1 年間である。基本的には次年度の平成 26 年度 3 月までに実証運行を終わらせて平成 27 年度 4 月から新たな運行をどうするのかという検討を行う。
- 分科会・市民部会が 7 月に予定されているのでもっと前倒しして早く休日運行をどうするのかを議論すべきと思う。スケジュールを見直しできるならお願いしたい。
→スケジュールについては見直す。
- 基本として何のためにバスを走らせているのかという周知が必要だと思う。また、分科会の開催だが、平日開催では出席が困難である。配慮をお願いしたい。
→オレンジゆずるバスの目的についても周知していく。今後、市民部会のメンバーも含めて開催時間等を検討していく。

(6) その他

特になし。

以上